

アウクスブルクに響き渡る大正琴！ 広がる交流の輪

平成 21 年は尼崎市とアウクスブルク市との姉妹都市提携50周年にあたり、両市のこれまでの心温まる友好関係を確認し、実りある関係の構築を誓い合うために大変重要な年でした。

この記念すべき年を共に祝うため、アウクスブルク市で開催される「アウクスブルク春の見本市日本展」に、橋本美和子さんを代表とする市内の大正琴バンド「万華鏡」のメンバー11名が自費で参加しました。

4月3日、バンドメンバー11名は、関西国際空港を出発した後、同日夜にはアウクスブルク市に到着し、現地で計6回の演奏を行いました。

到着翌日の4日には、アウクスブルク市内にあるヴィッテルスバッハ公園で開催された記念植樹式典で記念の音楽を奏でました。式典に出席していたクルト・グリーブルアウクスブルク市長からメンバー一人ひとりへ歓迎の言葉とともにおそろいのスカーフが贈られるサプライズもありました。



ヴィッテルスバッハ公園でグリーブル市長とともに

その後、姉妹都市提携50周年を記念して日本展が開催されているアウクスブルク春の見本市会場において、4日から5日にかけて計5回の演奏を行いました。オリエンタルな雰囲気のある日本展会場で、メンバーが奏でる美しい音色が来場者を魅了しました。

演奏会は来場者からの温かい拍手とともに終了し、9日に無事帰国しました。



アウクスブルク市見本市日本展での演奏会の様子

尼崎市表敬訪問

4月13日、バンドメンバーは、尼崎市を表敬訪問しました。

出席したメンバーは、アウクスブルク公演で「春を運んでくれた」と評判だったピンクの華やかな衣装とアウクスブルク市から贈られたストールを肩から掛けた華やかな装いで市長室を訪れました。白井市長は、尼崎市民の代表としてアウクスブルク市民にすばらしい演奏を届けてくれたことに対する敬意と感謝の気持ちを伝えていました。



白井市長とともにおそろいの衣装で